



機械科通信

酒田光陵高校機械科
第26号
平成28年6月3日

◆学科対面式（報告遅くなりました）

毎年恒例の『機械科対面式』が行われました。例年通り機械科職員の自己紹介と2・3年生代表歓迎の挨拶で始まりました。この会は2年生が準備・運営を行うことになっており、司会（荒生凌さん）も含め2年生ががんばってくれました。一年生は自己紹介と何か芸を披露することになっており（工工時代から続く伝統）、少し照れながら一人ひとり持ちネタを披露していました。始まる前にお手本として3年生の佐藤康樹くんが一発芸を披露し、一年生に勢いをつけてくれたので、会場の雰囲気もとてもよく、順調に会が進みました。40人終わったところで司会者が閉会行事へ向かうはずだったのですが、「ちょっと待った！」と声上がり、新担任の青山武先生が41人目の新メンバーとして自己紹介と一発芸をしてくれました。会場は盛り上がり、とても楽しい会となりました。準備してくれた2年生、会場を盛り上げてくれた3年生、そして緊張の中自己紹介をしてくれた1年生、皆さんご苦労様でした。今年度も勢いよく出発できます。



◆機械科進路希望調査結果

今年度第一回目の進路希望調査が行われました。1年生は国公立大学への進学希望者が例年よりも多いようです。本校はAO入試や推薦入試制度を使って合格を目指しますので、評定が進路に大きく影響してきます。今までの例だと、評定平均（3年間）が4.6以上必要になってきます。3年生は進路決定の本番の年ですので、具体的に入りたい学校・企業の対策を立てていかなければなりません。企業によって選考時、重視するところが違ってくる場合もありますので情報をしっかり把握するようにしましょう。2年生は「まだ早いな」なんて思わず、先輩たちが入っている企業や学校を知識として持つようにしましょう。企業によって必要な評定やスキルが違いますので、調べてみましょう。まだ、『未定』となっている人は、早めに目標を定めましょう。目標が定まるとモチベーションが上がり、成績向上につながります。**機械科は国立大学にも入れますし、日本のトップ企業に入社することも可能です。**要するに高校時代のがんばりによって自分の進路の道が太くもなるし細くもなるのです。

機械科進路希望調査結果

